

福岡市バリアフリー基本計画  
ロードマップの実施状況について

【平成30年度】

福岡市

# 目次

第1 「福岡市バリアフリー基本計画」の基本理念と施策体系	1
第2 ロードマップに基づく取組みについて 【平成29年度～平成32年度】	2
Ⅰ ハード面のバリアフリー化	
1 旅客施設	2
(1)鉄道駅	
(2)福岡市営地下鉄全線	
(3)バスターミナル	
(4)旅客船ターミナル	
(5)航空旅客ターミナル	
2 車両等	7
(1)乗合バス	
(2)福岡市営地下鉄車両	
(3)ユニバーサルデザインタクシー	
3 道路	8
(1)生活関連経路(重点整備地区内)	
(2)信号機(重点整備地区内)	
(3)エスコートゾーン	
(4)バス利用環境の改善	
4 公園	11
Ⅱ ソフト面のバリアフリー化	
1 「心のバリアフリー」の推進	13
(1)啓発・育成・実践	
(2)バリアフリー情報発信	
2 移動支援の推進	17
Ⅲ バリアフリー化の支援と進行管理	
1 スパイラルアップ	18

# 第1 「福岡市バリアフリー基本計画」の基本理念と施策体系

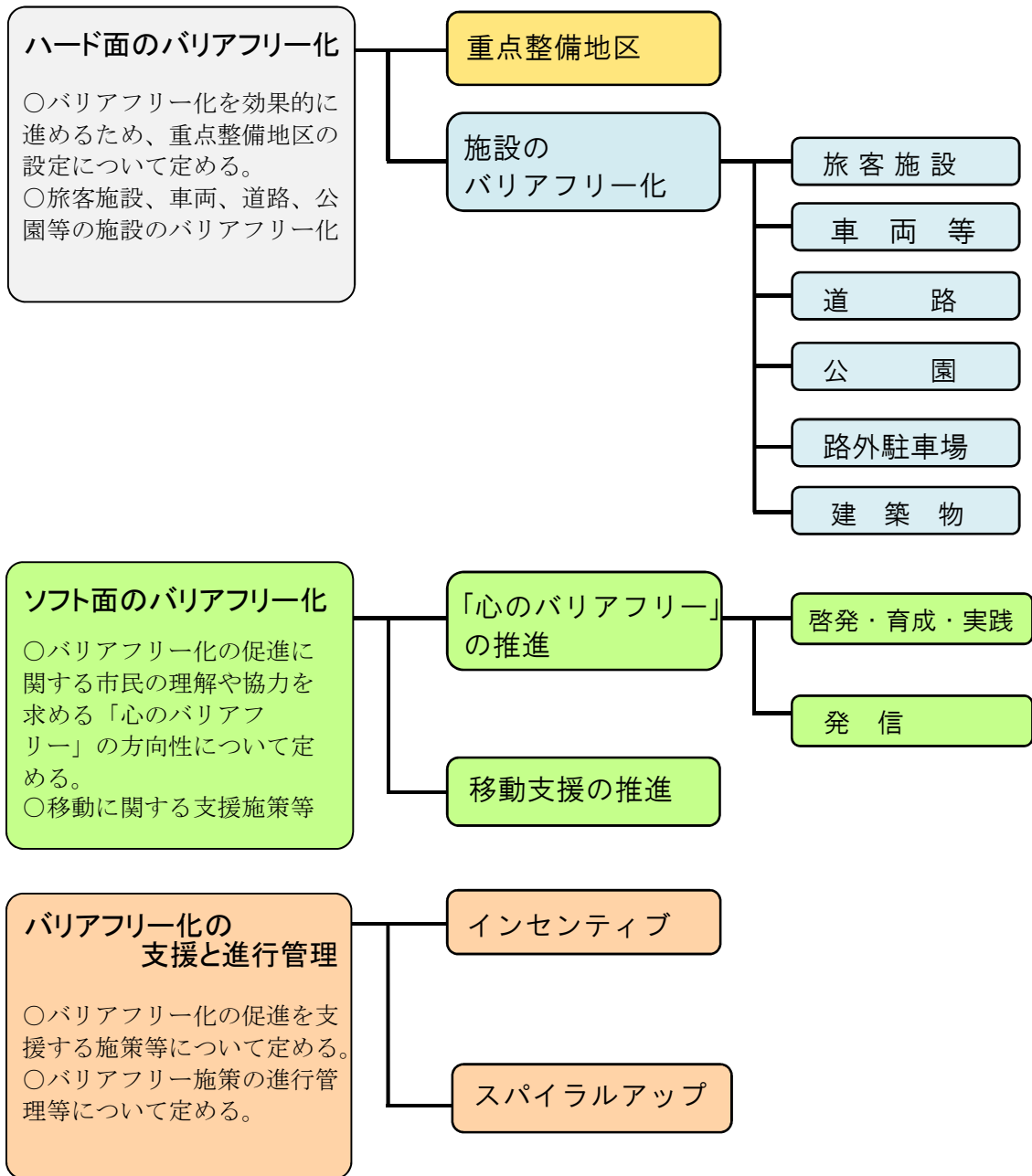
## 【基本理念】

本計画はバリアフリーの視点に立脚するものですが、ユニバーサルデザインの理念も踏まえて、すべての人にやさしい施設の整備や、すべての人がバリアフリー化の促進について理解し協力を惜しまない社会の実現をめざし、基本理念を次のとおりとします。

誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまちづくり

## 【施策体系】

本計画は、施設整備等のハード面の取組みを中心とする「ハード面のバリアフリー化」、  
「心のバリアフリー」の推進など、ソフト面の取組みを中心とする「ソフト面のバリアフリー化」、及び「バリアフリー化の支援と進行管理」の3つの柱で構成されます。本計画の施策体系は、以下のとおりです。



## 第2 ロードマップに基づく取組みについて【平成29年度～32年度】

本ロードマップは、「福岡市バリアフリー基本計画」に定めるバリアフリー化推進の方向性や取組みの方向性に基づき、平成32年までの目標年次に向けて取り組む事業等について、〈後期〉の平成29年度から32年度までに着手・検討する項目を掲げています。記載していない項目においても、バリアフリー化推進に取り組んだ事業は随時追加します。

なお、福岡市バリアフリー推進協議会において、このロードマップを基に進行管理及び取組内容等の検証等を行い、その結果に基づいて新たな取組みを講じることなどによりスパイラルアップを図っていきます。

また、整備目標や事業スケジュールは、事業の進捗状況、社会環境の変化、財政事情等により、今後、適宜見直ししていきます。

### I ハード面のバリアフリー化

#### 1 旅客施設

##### (1) 鉄道駅

① 鉄道駅のバリアフリー化						
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、 ①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組めます。 ②転落防止設備の整備 内方線付き点状ブロック又はホームドアの設置等によるホームからの転落防止設備の整備に取り組めます。 ③視覚障がい者誘導用ブロックの整備 公共用通路など駅施設の外部から駅施設内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組めます。 ④障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組めます。  ・対象駅数:62 (H28年度より2駅追加)					
指標と実績	バリアフリー化が完了した駅数	現状値 H28年度	実績 H29年度	目標 H30年度	目標 H31年度	最終目標 H32年度
		61	61	—	→	62
平成29年度の取組み【実績】	①段差の解消 整備なし ②転落防止設備の整備 JR筑肥線 九大学研都市駅下り線ホームでホームドアの実証実験を実施 ③視覚障がい者誘導用ブロックの整備 整備なし ④障がい者対応型便所の設置 整備なし					
平成30年度の取組み	①段差の解消 西鉄天神大牟田線 平尾駅上り線のEV改修 ②転落防止設備の整備 JR筑肥線 九大学研都市駅上り線ホームでホームドアの実証実験を実施 西鉄貝塚線 唐の原駅・和白駅に内方線付き点状ブロックの整備 ③視覚障がい者誘導用ブロックの整備 整備予定なし ④障がい者対応型便所の設置 整備予定なし					
特記事項	・利用者数が3千人以上となった駅については随時追加。 ・3千人以上の駅のバリアフリー化完了を見据え、2千人以上の駅への取組み検討を進める。 ・可動式ホーム柵等については、技術的課題を克服するための製品開発動向を踏まえ、設置に向け検討を進める。					
【関係機関】	○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市(交通局, 住宅都市局)					

(2) 福岡市営地下鉄全線

①	情報案内設備の改善		
整備内容	(1) 鉄道駅4項目のバリアフリー化(段差解消, 転落防止, 誘導ブロックの整備, 障がい者用トイレの整備)は整備済みであり, 今後も文字情報や音サイン等の情報案内設備の改善に取り組みます。 ・対象駅数: 35		
指標と実績	情報案内設備の改善	現状値	改善に努める
		H28年度 整備済	
平成29年度の 取組み 【実績】	馬出九大病院前駅・箱崎九大前駅のトイレ入口に触知図, 音声案内を設置した。		
平成30年度の 取組み	平成29年度をもって全駅完了した。		
特記事項	・文字情報は, 空港線・箱崎線の案内サインについて, 路線全体の統一感を保ちながら平成31年度までに改良を進める。 ・音サインは, エスカレーターの新設, リニューアルに合わせて音声案内を設置する。		
【関係機関】	○福岡市交通局		

箱崎九大前駅トイレ 触知図



(3) バスターミナル

① バスターミナルのバリアフリー化			
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて、 ①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 ②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ③障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数：3		
指標と実績	適切な維持・保全	現状値	維持・保全に努める
		H28年度 整備済	
平成29年度の 取組み 【実績】	①段差の解消 前年度に引き続き、施設の維持・保全に努めた。 【藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道局)】 ②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 前年度に引き続き、施設の維持・保全に努めた。 【藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道局)】 ③障がい者対応型便所の設置 前年度に引き続き、施設の維持・保全に努めた。 【藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道局)】		
平成30年度の 取組み	①段差の解消 前年度に引き続き、施設の維持・保全に努める。 【藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道局)】 ②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 前年度に引き続き、施設の維持・保全に努める。 【藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道局)】 ③障がい者対応型便所の設置 前年度に引き続き、施設の維持・保全に努める。 【藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道局)】		
特記事項	・藤崎バス乗継ターミナルにおいて、整備完了していることから、当面、維持・保全に努める。		
【関係機関】	○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道局)		

(4) 旅客船ターミナル（福岡市有施設のみ）

平成27年3月31日をもって、市営渡船の大岳寄港が終了し、対象ターミナル数が8となっています。

① 旅客船ターミナルのバリアフリー化		現状値	実績	目標	目標	最終目標
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数は3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、 ①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 ②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるように、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ③障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。  ・対象ターミナル数：8	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		指標と実績	視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数	5	5	—
平成29年度の取組み【実績】	①段差の解消 引き続き施設の維持・保全に努めた。 ②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 施設の維持・保全に努めた。 ③障がい者対応型便所の設置 施設の維持・保全に努めた。					
平成30年度の取組み	①段差の解消 施設の維持・保全に努める。 ②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 施設の維持・保全に努める。 ③障がい者対応型便所の設置 施設の維持・保全に努める。					
特記事項	・視覚障がい者誘導用ブロックの整備を順次進める。【港湾空港局 港営課】 ・今後とも維持・保全に努める。【港湾空港局 客船事務所】					
【関係機関】	福岡市港湾空港局（○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所）					

(5) 航空旅客ターミナル

① 航空旅客ターミナルのバリアフリー化			
整備内容	<p>1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、</p> <p>①段差の解消 エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。</p> <p>②視覚障がい者誘導用ブロックの整備 公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます</p> <p>③障がい者対応型便所の設置 便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。</p> <p>・対象ターミナル数：2</p>		
指標と実績	適切な維持・保全	現状値 H28年度 整備済	改善に努める
平成29年度の 取組み 【実績】	<p>①段差の解消</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルを再整備する工事に着手しており、工事期間中のエレベーター停止時においては段差解消機を設けるなど、通行に支障のある段差を設けないよう配慮した。また、新たに供用した到着旅客専用動線に至る搭乗橋内にエレベーターを設けるなど、階層移動にも配慮した計画とした。(平成27年度から平成31年度まで)</p> <p>2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。</p> <p>②視覚障がい者誘導用ブロックの整備</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルを再整備する工事に着手しており、通路の形状や駐車枠を変更する際においても、他の交通機関から有人カウンターや案内所、トイレまで視覚障がい者誘導用ブロックの連続性を維持することで、安全性を常に確保した。(平成27年度から平成31年度まで)</p> <p>2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。</p> <p>③障がい者対応型便所の設置</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルを再整備する工事において順次トイレを更新しているが、更新までの仮設期間含め、本設または仮設の多目的トイレを各ゾーニング毎に必ず設置し、本設の一般トイレについては簡易多目的トイレの設置を進めた。(平成27年度から平成31年度まで)</p> <p>2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。</p>		
平成30年度の 取組み	<p>①段差の解消</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルの再整備において、新たに供用する到着旅客専用動線に至る搭乗橋内や乗り継ぎ時には階層移動が必要になるが、専用のエレベーターを設けるなど、移動に配慮した計画を継続して進めていく。(平成27年度から平成31年度まで)</p> <p>2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。</p> <p>②視覚障がい者誘導用ブロックの整備</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルの再整備において、通路の形状や駐車枠を変更する際においても、他の交通機関から有人カウンターや案内所、トイレまで視覚障がい者誘導用ブロックの連続性を維持することで、安全性を常に確保していく。(平成27年度から平成31年度まで)</p> <p>2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。</p> <p>③障がい者対応型便所の設置</p> <p>1. 国内線旅客ターミナルの再整備において、新たに供用するゲートラウンジやロビーに設けるトイレには多目的トイレを併設し、また、8月に到着ロビーへ補助犬用トイレを新設するなど継続して整備を進めていく。(平成27年度から平成31年度まで)</p> <p>2. 12月中に国際線ターミナルビルの犬走りに補助犬用トイレを整備する予定。</p>		
特記事項	<p>・国事業の平行誘導路二重化に伴い国内線旅客ターミナルを再整備工事中(平成27年度から平成31年度まで)</p> <p>・工事期間中においても、可能な限りバリアフリーに配慮しながら再整備を進める。</p>		
【関係機関】	○福岡空港(国内線旅客ターミナル, 国際線旅客ターミナル)		



## 2 車両等

### (1) 乗合バス

① ノンステップバスの導入				
整備内容	車両更新時にノンステップバスの導入に取り組みます。			
指標と実績	導入されたノンステップバス数(台) (平成28年度末時点の導入率 %)	現状値	実績	継続導入
		H28年度	H29年度	
		380 (約28%)	443 (約32%)	
平成29年度の 取組み 【実績】	ノンステップバス導入 【西日本鉄道/57台 , 昭和自動車/6台 , JR九州バス/1台】			
平成30年度の 取組み	ノンステップバス導入 【西日本鉄道/60台 , 昭和自動車/9台 , JR九州バス/2台】			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の基本方針(平成32年度までに乗合バスの70%をノンステップバスとする)を踏まえ、引き続き、ノンステップバスの導入を促進する。</li> <li>・平成32年度までに国の移動等円滑化基準に適合する車両(低床バス)は、概ね100%となる予定。(低床バス:ワンステップバス, ノンステップバス)</li> </ul>			
【関係機関】	○西鉄 ○昭和自動車 ○JR九州バス ○福岡市住宅都市局			

### (2) 福岡市営地下鉄車両

① 地下鉄車両のバリアフリー化				
整備内容	優先スペースを滑りにくい床表面とします。 ・優先スペースのある車両数:178			
指標と実績	優先スペースを滑りにくい床表面とした車両数	現状値	維持・保身に努める	
		H28年度 整備済		
平成29年度の 取組み 【実績】	既に整備基準に適合した状態であり、車両の維持・保身に努めた。			
平成30年度の 取組み	既に整備基準に適合した状態であり、車両の維持・保身に努める。			
特記事項				
【関係機関】	○福岡市交通局			

### (3) ユニバーサルデザインタクシー

① ユニバーサルデザインタクシーの普及促進				
整備内容	ユニバーサルデザインタクシーの普及促進のあり方を検討します。			
指標と実績	導入されたUDタクシー台数	現状値	実績	継続導入
		H28年度	H29年度	
		20台	86台	
平成29年度の 取組み 【実績】	ユニバーサルデザインタクシーの導入 66台			
平成30年度の 取組み	国の補助制度や他都市の先行事例などを参考にしながら普及促進のあり方を検討する。			
特記事項				
【関係機関】	○福岡市住宅都市局			

### 3 道路

#### (1) 生活関連経路（重点整備地区内）

①	道路のバリアフリー化					
整備内容	重点整備地区内の生活関連施設相互を結ぶ道路(生活関連経路)のバリアフリー化に取り組みます ・整備内容:歩道の段差解消, 視覚障がい者誘導用ブロック敷設など ・対象延長:43.6km					
指標と実績	バリアフリー化整備が完了した道路延長(km)	現状値	実績	目標	目標	最終目標
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		35.3	36.5	38.4	39.4	41.7
平成29年度の取組み【実績】	1. 国道202号春吉橋架替事業にあわせて, バリアフリー化整備の検討。【福岡国道事務所】 2. 生活関連経路のバリアフリー化を1.2km実施。【福岡市道路下水道局】 3. 博多・中央ふ頭地区内の生活関連経路については, ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ, 検討した。【福岡市港湾空港局】					
平成30年度の取組み	1. 国道202号春吉橋架替事業にあわせて, バリアフリー化整備の検討。【福岡国道事務所】 2. 目標の達成に向け, 整備を進めていく。【福岡市道路下水道局】 3. 博多・中央ふ頭地区内の生活関連経路については, ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ, 検討する。【福岡市港湾空港局】					
特記事項	・目標の達成へ向け, 整備を進めて行く。【道路下水道局】 ・国道202号春吉橋架替事業にあわせて, バリアフリー化整備予定。【福岡国道事務所】 ・博多・中央ふ頭地区は, ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ検討する。【港湾空港局】					
【関係機関】	○福岡市(道路下水道局, 住宅都市局, 港湾空港局) ○福岡国道事務所					

#### 生活関連経路 視覚障がい者誘導用ブロック設置(舞鶴薬院線)



着手前



完成

#### (2) 信号機（重点整備地区内）

①	信号機のバリアフリー化		
整備内容	重点整備地区内の生活関連経路における信号機のバリアフリー化に取り組みます。 ・整備内容:音響式付加信号, 視覚障がい者用付加信号, 高齢者感应式信号, 歩車分離式信号などの設置 ・対象箇所数:196箇所		
指標	バリアフリー化された信号機	現状値	機能付加
		H28年度 整備済	
平成29年度の取組み【実績】	歩車分離式信号1箇所整備		
平成30年度の取組み	目標整備済みであるものの, 要望・必要性等を考慮し, 引き続き整備を行う。		
特記事項	・信号機のバリアフリー化は一定の整備は完了したが, 必要に応じて機能を付加していく。		
【関係機関】	○福岡県公安委員会(福岡県警)		

### (3) エスコートゾーン

① エスコートゾーンの設置				
整備内容	横断歩道における視覚障がい者の誘導対応として、必要に応じてエスコートゾーンの設置に取り組みます。			
指標と実績	エスコートゾーンの設置数	現状値	実績	適宜設置
		H28年度	H29年度	
		6	7	
平成29年度の取組み【実績】	1. 天神コア前に設置。【福岡市道路下水道局】 2. 利用者の意見・要望はなかった。【福岡国道事務所】			
平成30年度の取組み	1. 天神交差点に設置。【福岡市道路下水道局】 2. 利用者意見を踏まえ、要望があれば設置について検討する。【福岡国道事務所】			
特記事項	・利用者意見を踏まえ、要望があれば設置について検討する。			
【関係機関】	○福岡市道路下水道局 ○福岡国道事務所 ○福岡県公安委員会(福岡県警)			

#### エスコートゾーンの設置（天神コア前）



着手前



完了

### (4) バス利用環境の改善

① 歩道のマウントアップ						
整備内容	ノンステップバス導入路線を中心として、バス停での乗降しやすさを改善するため、バス停部における歩道のマウントアップ整備に取り組みます。 ・対象箇所数:200箇所(生活関連経路上のバス停)					
指標と実績	バス停部におけるマウントアップされた歩道 (重点整備地区内の生活関連経路)	現状値	実績	目標	目標	最終目標
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		162	164	169	170	180
平成29年度の取組み【実績】	1. 目標の達成に向け、整備を進めた。【福岡市道路下水道局】 2. 対象箇所の整備について検討した。【福岡国道事務所】 3. 対象箇所の整備については、ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ、検討した。【福岡市港湾空港局】					
平成30年度の取組み	1. 目標の達成に向け、整備を進めていく。【福岡市道路下水道局】 2. 対策箇所の整備について検討する。【福岡国道事務所】 3. 対象箇所の整備については、ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ、検討する。【福岡市港湾空港局】					
特記事項	・目標の達成に向け、整備を進めて行く。【道路下水道局】					
【関係機関】	○福岡市(道路下水道局, 港湾空港局) ○福岡国道事務所					

② 利用環境の改善				
整備内容	バス停の利用改善のため、上屋やベンチの設置に取り組みます。 ①路線バス事業者による設置 ②道路管理者による設置の検討 ③バス停付近に隣接する市有地・民有地へのベンチ設置促進			
指標と実績	上屋やベンチの設置数	現状値 H28年度	実績 H29年度	適宜設置
		ベンチ設置の 考え方整理	上屋 14箇所 ベンチ33箇所	
平成29年度の 取組み 【実績】	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市域内のバス停において、上屋7箇所、ベンチ8箇所設置。【西日本鉄道(株)、昭和自動車(株)】</li> <li>2. 市域内のバス停において、上屋及びベンチを5箇所設置。【福岡市道路下水道局】</li> <li>3. 2箇所のバス停下屋を整備。(国道202号外環状道路)【福岡国道事務所】。</li> <li>4. バス停ベンチの設置を検討する地域団体からの問い合わせに応じ、制度説明などの情報提供を行った。【福岡市道路下水道局】</li> <li>5. 対象箇所の整備については、ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ、バス事業者とともに検討した。【福岡市港湾空港局】</li> <li>6. ベンチプロジェクトとして、バス停付近の市有地11か所へベンチを設置するとともに、バス停付近の民有地へベンチ購入補助を活用したベンチを9箇所設置。【福岡市保健福祉局】</li> </ol>			
平成30年度の 取組み	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公共交通の乗継箇所となるバス停(鉄道⇒バス、バス⇒バス)を中心に、引き続き、バス事業者に対して、バス停下屋ベンチの設置を働きかけていく。【住宅都市局】</li> <li>2. 福岡市の設置基準に合致し、歩道の有効幅員が確保されるバス停において、上屋及びベンチの設置を推進していく。【福岡市道路下水道局】</li> <li>3. バスカット整備・上屋整備に合わせPPPを推進、検討する。【福岡国道事務所】</li> <li>4. バス停ベンチ設置に取り組む地域団体に対し、手続の支援や情報提供により、ベンチ設置を促進していく。【福岡市道路下水道局】</li> <li>5. 対象箇所の整備については、ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ、バス事業者とともに検討していく。【福岡市港湾空港局】</li> <li>6. ベンチプロジェクトとして、バス停付近の市有地へのベンチ設置を進めるとともに、バス停付近の民有地へベンチ購入補助の活用を働きかける。【福岡市保健福祉局】</li> </ol>			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停への上屋ベンチの設置については、バス事業者による利用者サービスを基本としつつ、道路管理者においても、バリアフリー重点整備地区内の生活関連経路上などにおいて、上屋およびベンチの設置を推進していく。【道路下水道局】</li> <li>・バスカット整備・上屋整備に合わせPPPを推進、検討する【福岡国道事務所】 ※PPP: 官が整備した上屋を民間事業者が広告収入で維持管理する新たな取り組み</li> <li>・バス停付近で、歩道に十分な幅員がない場所に隣接する市有地とバス停付近の民有地にベンチ設置を促進する。【保健福祉局】</li> </ul>			
【関係機関】 ○福岡市(道路下水道局, 港湾空港局, 住宅都市局, 保健福祉局) ○福岡国道事務所				

### 上屋ベンチ設置(吉塚駅前)



着手前



完了

## 4 公園

### ○福岡市が設置・管理する公園

① 園路及び広場のバリアフリー化						
整備内容	公園の新規及び再整備等にあわせて、園路及び広場のバリアフリー化整備に取り組みます。 ・整備内容：有効幅員の確保、段差の解消など ・対象公園数：1,630公園(すべての公園数)					
指標と実績	園路及び広場をバリアフリー化した公園数	現状値	実績	目標	目標	最終目標
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		99	106	125	144	164
平成29年度の 取組み 【実績】	公園の新設及び再整備にあわせ、バリアフリーの基準に合致した園路・広場の整備を7公園で実施。					
平成30年度の 取組み	引き続き、公園の新設及び再整備等にあわせて、バリアフリーの基準に合致した園路・広場の整備を進める。					
特記事項	-					
【関係機関】	○福岡市住宅都市局					

### 名柄公園のバリアフリー化



着手前



完了

② 駐車場のバリアフリー化						
整備内容	駐車場がある場合には駐車場のバリアフリー化整備に取り組みます。 ・整備内容：車いす対応駐車スペースの適正台数の確保など ・対象公園数：31公園(駐車場がある公園数)					
指標と実績	駐車場をバリアフリー化した公園数	現状値	実績	目標	目標	最終目標
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		20	30	31	維持・保全	31
平成29年度の 取組み 【実績】	駐車場バリアフリー化を10公園で実施。					
平成30年度の 取組み	H30年度中にすべての駐車場バリアフリー化を完了予定。					
特記事項	-					
【関係機関】	○福岡市住宅都市局					

③ 障がい者対応型便所の設置																
整備内容	トイレの設置が必要な公園については、公園の新規及び再整備等にあわせて、障がい者対応型便所の設置を進めます。 ・整備内容:障がい者対応型便所の整備。 対象公園数:358公園(トイレを設置している公園数)															
指標と実績	障がい者対応型便所を整備した公園数															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>目標</th> <th>最終目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>H32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60</td> <td>63</td> <td>82</td> <td>101</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>	現状値	実績	目標	目標	最終目標	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	60	63	82	101	120
現状値	実績	目標	目標	最終目標												
H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度												
60	63	82	101	120												
平成29年度の取組み【実績】	公園の新設及び再整備等にあわせ、3公園で障がい者対応型便所を整備。															
平成30年度の取組み	引き続き、公園の新設及び再整備等にあわせて、障がい者対応型便所の整備を進める。															
特記事項	-															
【関係機関】	○福岡市住宅都市局															

## Ⅱ ソフト面のバリアフリー化

### 1 「心のバリアフリー」の推進

#### (1) 啓発・育成・実践

バリアフリー化促進にかかる市民の理解と協力を求める「心のバリアフリー」を全市的に発展させます。

〔啓発〕

①		幅広い市民を対象とした取組み	
取組内容	障がい者週間などの既存行事やバリアフリー表彰などに合わせたシンポジウム等の開催を検討します。		
指標と実績	幅広い市民を対象とした啓発	現状値 H28年度 実施	継続
平成29年度の取組み【実績】	前年に引き続き「障がい者週間記念の集い」を開催。 【主なイベント内容】 ・記念講演、障がい者団体のステージイベントを実施。 ・WeLove天神主催の「クリスマスマーケット2017」と連携し、障がい者施設商品の販売などを実施。		
平成30年度の取組み	前年に引き続き「障がい者週間記念の集い」を開催予定。 【主なイベント内容】 ・記念講演、障がい者団体のステージイベントを実施予定。 ・WeLove天神主催の「クリスマスマーケット2018」と連携し、障がい者施設商品の販売などを実施予定。		
特記事項	・障がい者週間にあわせて「障がい者週間記念の集い」を開催する。		
【関係機関】	○福岡市保健福祉局		

#### 障がい者週間記念の集い



〔啓発〕

②		啓発ツール等の作成	
取組内容	啓発行事や出前講座、研修会などにおいて活用する啓発ツール等の作成に取り組みます。		
指標と実績	啓発ツール等の作成	現状値 H28年度 活用	継続
平成29年度の取組み【実績】	出前講座等の機会を捉え、作成した広報誌「心のバリアフリー」の配付・啓発を行うとともに、一部改訂した。		
平成30年度の取組み	出前講座等の機会を捉え、改訂した広報誌「心のバリアフリー」の配付・啓発を行う。		
特記事項	・作成したツールを出前講座などあらゆる機会を捉えて活用を進める。		
【関係機関】	○福岡市保健福祉局		

〔育成〕

①		出前講座など	
取組内容	地域団体や民間企業、児童・生徒など、対象者に応じた出前講座や教育を進めます。		
指標と実績	出前講座や教育の実施	現状値	継続
		H28年度 実施	
平成29年度の 取組み 【実績】	1. 九州運輸局をはじめ関係機関と協力し、小学校にてバリアフリー教室を4回開催。 2. 行政機関や民間団体の研修会において、バリアフリーのまちづくりに関する出前講座を7回実施。		
平成30年度の 取組み	1. 小学校にてバリアフリー教室を開催予定。 2. 行政機関や民間団体の研修会において、バリアフリーのまちづくりに関する出前講座を実施している。		
特記事項	・子ども向けの講座の充実や、実施にあたっては様々な関係機関と連携して取り組む。		
【関係機関】	○福岡市(保健福祉局, 教育委員会)		

バリアフリー教室(大楠小学校4年生)





## 〔育成〕

② 行政職員研修			
取組内容	新規採用職員や公共施設整備の担当職員に対するバリアフリー体験研修, 公共施設整備の担当職員向け技術研修の実施に取り組みます。		
指標と実績	行政職員研修の実施	現状値 H28年度	継続
		実施	
平成29年度の取組み【実績】	福岡市職員を対象にした技術研修「ユニバーサルなまちづくり(みんなにやさしい施設整備を進めるために)」を実施した(参加者36名)。		
平成30年度の取組み	福岡市職員を対象にした技術研修「ユニバーサルなまちづくり(みんなにやさしい施設整備を進めるために)」を実施した(参加者31名)。		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで実施している研修を引き続き実施する。</li> <li>・障がい者施設への体験研修など障がいへの理解をより深める研修の検討</li> </ul>		
【関係機関】	○福岡市保健福祉局		

## 〔実践〕

① 「バリアフリーマップ」の更新・調査			
取組内容			
指標と実績	市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査	現状値 H28年度	継続
		実施	
平成29年度の取組み【実績】	「車いす利用者おでかけマップ」の掲載及び任意の場所を指定して周辺施設検索ができるよう改良した。		
平成30年度の取組み	維持管理に努める。		
特記事項	バリアフリーマップに掲載している施設情報の追加・更新を, 引き続き進める。		
【関係機関】	○福岡市保健福祉局		

〔実践〕

② 共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり			
取組内容	利用者の声を施設設置管理者に伝えるとともに、意見交換等により共働でバリアフリー推進を図る仕組みの構築や「まち歩き」に取り組みます。		
指標と実績	共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり(まち歩き)	現状値 H28年度	継続
		試行	
平成29年度の取組み【実績】	バリアフリーのまちづくりサポーター制度を周知した。		
平成30年度の取組み	バリアフリーのまちづくりサポーター制度を周知・活用の働きかけをする。		
特記事項	バリアフリーのまちづくりサポーター制度を活用できるよう周知する。		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

(2) バリアフリー情報発信

ハード整備やソフトの取組み成果を積極的に発信し、市民の社会参加を促進します。

① バリアフリー表彰制度			
取組内容	バリアフリーの推進に関して功績のあった者に対する表彰を行い、優れた取組みの普及、啓発の促進に取り組みます。(「ユニバーサル都市・福岡」の推進との連携)		
指標と実績	バリアフリー表彰制度の実施	現状値 H28年度	継続
		実施	
平成29年度の取組み【実績】	ユニバーサル都市・福岡賞において、市民や団体、事業者等のユニバーサルデザインに基づく優れた取組みや施設整備等について表彰を行った。		
平成30年度の取組み	ユニバーサル都市・福岡賞において、市民や団体、事業者等のユニバーサルデザインに基づく優れた取組みや製品開発、施設(店舗)整備、情報発信やそのアイデアについて表彰を行った。		
特記事項	・市民や地域、企業がユニバーサルデザインに基づく優れた活動や製品開発等、またはそれらのアイデア(バリアフリー優良事例を含む)について表彰を行う。		
【関係機関】 ○福岡市(総務企画局, 保健福祉局)			

ユニバーサル都市福岡賞



② バリアフリー優良事例等の収集と公表			
取組内容	バリアフリー表彰制度と併せて、優れた取組みや的確な工夫、アイデアなどの優良事例を収集し、情報発信に取り組みます。		
指標と実績	バリアフリー優良事例等の収集と公表	現状値 H28年度 実施	継続
平成29年度の取組み【実績】	ユニバーサル都市・福岡賞の受賞者や受賞内容をユニバーサル都市・福岡のホームページに掲載した。		
平成30年度の取組み	ユニバーサル都市・福岡賞の受賞者や受賞内容をユニバーサル都市・福岡のホームページに掲載する。		
特記事項	・優れた取組みや的確な工夫、アイデアなどの優良事例をフェイスブックや市ホームページに掲載する。		
【関係機関】 ○福岡市(総務企画局, 保健福祉局)			

③ 進捗状況の公表			
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画の進捗状況の公表を行います。		
指標と実績	バリアフリー基本計画の進捗状況の公表	現状値 H28年度 公表	継続
平成29年度の取組み【実績】	ロードマップに基づく平成28年度の取組実績および平成29年度の取組について市ホームページに掲載。		
平成30年度の取組み	ロードマップに基づく平成29年度の取組実績および平成30年度の取組について市ホームページに掲載予定。		
特記事項			
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

## 2 移動支援の推進

既存のハード面を補完し、移動を支援していくソフト面のバリアフリー化に取り組みます。

① わかりやすい案内表示等の研究			
取組内容	主要な駅等を中心に商業施設や公園等の生活関連施設を含むエリア等を対象に、歩道や信号機のバリアフリー化にも合わせて、全ての移動者に分かりやすいサインや案内表示等のあり方等の研究に取り組みます。(施設整備マニュアル改訂と連携)		
指標と実績	わかりやすい案内表示等の研究	現状値 H28年度 活用	継続
平成29年度の取組み【実績】	「施設整備マニュアル」を活用し、わかりやすい案内表示を行うよう取り組んだ。		
平成30年度の取組み	「施設整備マニュアル」を活用し、わかりやすい案内表示を行うよう取り組む。		
特記事項	・改訂した「施設整備マニュアル2014」を活用し、引き続きわかりやすい案内表示に取り組む。		
【関係機関】 ○福岡市保健福祉局			

<b>② 「バリアフリーマップ」の更新・調査【再掲】</b>			
取組内容	市民参加の新たな手法による「福岡市バリアフリーマップ」の更新，調査に取り組みます。		
指標と実績	市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査	現状値 H28年度	継続
		実施	
1 「心のバリアフリー」の推進(再掲)			
特記事項	・バリアフリーマップに掲載している施設情報の追加・更新を、引き続き進める。		
【関係機関】	○福岡市保健福祉局		

### Ⅲ バリアフリー化の支援と進行管理

#### 1 スパイラルアップ

バリアフリー化の段階的・継続的な発展を図ります。

<b>① 施設整備マニュアルの改訂</b>			
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画に定めるバリアフリー推進の方向性や社会情勢の変化への対応なども踏まえ、福岡市まちづくり条例施行規則に定める整備基準等をまとめた『施設整備マニュアル』の改訂に取り組みます。		
指標と実績	施設整備マニュアルの改訂	現状値 H28年度	継続
		運用	
特記事項	・改訂した「施設整備マニュアル2014」を引き続き運用する。 ・国のバリアフリーに関するガイドライン改正を踏まえ、平成30年度以降、現行の施設整備マニュアル2014の改訂に取り組む。		
【関係機関】	○福岡市保健福祉局		